

2024年1月15日月曜朝会 「小正月」「受験に向けて」

おはようございます。週末は寒かったですね。雪も降りました。本格的に冬の寒さを感じました。

今日は1月15日、日本の古い暦では1月15日を小正月と呼んでいます。今年最初の満月の日を指していて、古くからこの日にお祝いをしたりしたものです。1日の元旦から7日ごろまでを「大正月」、1月15日を中心とする14~16日ごろを「小正月」と呼んで、地域によって違いはありますが、無病息災や家内安全などを祈願するさまざまな行事が行われます。

また、昔は1日の元旦が「男正月」とされていたので、年末年始の忙しい時期が終わって、女性がゆっくりできる15日前後を「女正月」などとも呼んだりして休養したり、遊んだりする日としたようです。

地域によっては1月16日を「女性の日」としているところもあるとのこと。

では、小正月にはどのようなことをするのかというと、代表的には「どんど焼き」が行われます。どんど焼きは1月14日の夜や15日に、地域の広場や、海岸、学校、神社などで、正月飾りやしめ縄、古くなったお飾りやお守りなどを、高く積み上げた竹やわらの山に火をつけ焼く行事です。これをお焚きあげと言い、この火や煙にあたりたりして「無病息災」や「家内安全」「学業成就」などを願うのです。

「道祖神祭り」などとも呼ばれます。



私の育ったところでは、広い海岸でこのどんど焼きを行っていました。それぞれの家からは、梅の木の枝に紅白や緑に色を付けた団子を刺して、10mくらいの高く積んだどんど焼きの炎で焼くのです。大きな炎の熱さを今でも覚えています。そして焼けた団子を皆で食べて、一年間の健康を願ったりしていました。

地域によっては、蚕（かいこ）の作る繭（まゆ）に見立てて、餅で飾り物を作る地域もあり、蚕の成長や、農業の豊作を祈ったりしています。それから有名な「なまはげ」などもこの小正月に行われる行事です。

きっと皆さんのお家の近くでも1月15日には、様々な方法で小正月を祝うと思うので調べてみるといいですね。あと、代表的な食べ物には「あずき粥」や「ぜんざい」があります。小豆の赤い色には魔よけの意味があるとされ、鏡開きをした餅を使用し、ぜんざいを作って食べてみるといいですね。

さて、能登半島地震では壊れた建物からの救助活動が今も続けられています。そのような中でも、子どもたちの学習の機会が奪われてはいけないと、被災地に住んでいる中学生を安全な地域で一時的に預かって勉強がスタートすることになりました。ただ、小学生は保護者から離れて生活することに不安があるため、この対象からは外されました。授業が一部再開された小学校では、避難してきている人たちとの共同生活をしながらの学校再開という事でした。学習を大切にする日本の教育の素晴らしさを改めて感じました。

一日も早く復旧して、皆が安心して勉強ができるようになることを願っています。

このところ児童会を中心に「都市大っ子ベーシック」について、いろいろな場面でお話がされていますね。これを聞いて皆さんはどのようなことを感じているでしょうか。頑張ってみんなで守っていかねければと感じていてくれるでしょうか。そうだったらとても嬉しく思いますし、お話をしてくれている児童会や委員会の人たちも頑張っている権があったと喜んでくれるでしょう。

ひとつ付け加えておこなれば、皆の目標は都市大っ子ベーシックを守ることが完成ではないという事です。都市大付属小学校があげている目標は「高い学力と豊かな心」を身に付けることなのです。この学校での6年間の勉強で、将来皆さんが中学や高校、大学を卒業して大人になった時に、社会に通用する学力の基礎を身に付けることと、様々な体験や行事や学校生活全般を通じて、人として持っていなければならない、思いやりの心や、勇気、人を敬う心や謙虚な心を身に付けていくことを学力と合わせて、学校の目標としているのです。

そして、立派な大人になるための支えとなる行動の基本が「都市大っ子ベーシック」なのです。ですから、出来て当たり前にならなくてはいけないのです。皆さんには、もっと大きな目標があるという事を忘れないで欲しいと思っています。将来みんなはどんな大人になるのか一人ひとりの努力にかかっています。

しっかりと頑張ってください。

さて6年生の受験が始まりました。メインは2月1日からという人が殆どだと思いますが、これまでに積み重ねてきた力を思う存分に発揮して、それぞれが描く将来に近づけて欲しいと願っています。

プロのスポーツ選手のメンタルトレーナーが言っていたことに、完璧を求めないことと云う話がありました。地道に頑張ってきた人ほど完璧主義にとらわれてしまう傾向にあるとのこと。満点でなくていい、合格点をどう獲るのか。それが7割なら、どこからどう獲るのか考えればいいということです。解けない問題に固執せず、得意な問題で稼ぐことも一つです。決して、マイナス思考にならずに前向きに取り組んで欲しいと思っています。

そうは言ってもたった一度の入試です。緊張や不安はあって当たり前です。入試は落とすためにやられるのではなく、学校は門を開けて皆を待っていると考えてください。前向きに考え取り組むことが出来た人が門に到達するのだと思ひましょう。

リラックスのためには散歩や入浴が大切だそうです。みんなで力を合わせこの一月を乗り越えてください。